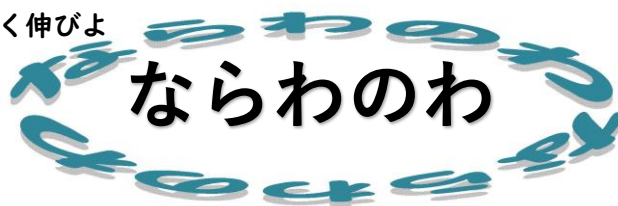


清く 正しく 大きく伸びよ



発行 成岩小学校
令和5年度3月号

3学期もあと少しとなりました。「元気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱい」で楽しい学校、明日も通いたくなる学校をめざし、1年間さまざまな教育活動に取り組んでまいりました。保護者の皆様、地域の皆様、お支えいただきありがとうございました。

今年度の「ならわのわ」最終号です。今回は、うれしかったできごとを紹介します。

大縄大会で心をひとつに ICTも活用

大縄大会が、2月5日（月）～2月16日（金）に学年別で行われました。学級対抗で、八の字跳びの合計回数を競います。制限時間は3分間。大会に向けて約1か月前から練習を積み上げました。目標に向かって学級の仲間が心を一つにして取り組みました。なわにひっかかった友達を励ますあたたかい声かけ、最後まであきらめずに挑戦する姿、とてもすてきでした。

さて、体育委員が回数を数えるときに活躍したのが、タブレット端末です。一人が跳んでいる数を数え、もう一人は動画を撮りました。そして、見て数えた回数と撮った動画での回数とを照らし合わせて、正確な結果の判定をしました。給食の時間の昼放送で結果が発表されました。真剣に聞き入り、たいへん盛り上がっていました。学校生活のさまざまな場面で、ICT機器を活用しています。



能登半島地震応援募金 被災地に思いを届けよう

2月27日（火）～3月1日（金）朝、昇降口で児童会総務委員と5年生の児童が募金を呼びかけました。ご協力ありがとうございました。この募金は、ある児童の「能登半島地震で苦しんでいる人たちの力に少しでもなりたい」「学校で募金活動をして被災地へ送りたい」という思いから始まりました。その思いを受けて、学級として応援し、児童議会で提案し、全校で取り組むことになりました。

はじめは一人の考えから、そしてそれが学校全体の動きとなった今回の取組。自分たちの願いがかなう児童会・学校として、これからもいろいろなことに取り組んでほしいと思います。



運動場のごみ どうしたらいい？

「これは、1週間、朝、運動場とその周りに落ちていたごみです。」朝会で、運動場のごみの話をしました。授業が終わった後、学校に遊びに来る人がいます。お菓子をもって来て、食べて、ごみをそのまま捨てていく人がいるようです。運動場や学校がごみだらけになってしまい困っています。児童に、どうしたらよいか考えてほしいと思いました。そこで、放課後の学校での遊びについて、3つの案を例として示しました。

- ・案1 運動場×
- ・案2 お菓子×
- ・案3 その他（ ）

この話の後、運動場のごみについて話し合った学級があります。「ごみになる物を持ってこない」「ごみ箱を設置する」「ごみを入れる袋を持ってくる」など、自分たちの学校をよりよくするために、さまざまな意見が出されました。課題を見つけ、その課題を解決する力が育ってきていることを感じ、とてもうれしく思いました。（校長 古市和臣）

